

病院の起源は、医学の歴史と同様、宗教の歴史をさかのぼらなければならない

病院概史

(その 1)

ローマ帝国にも拡がって行き、外來患者も扱う現代の病院に似たものであつた。

インドに於ては、ヒンズーの文献によると、前 600 年に、釈迦が、十村に一医師と、不具者と貧者の爲の病院を建設している。又彼の息 Upatissa は病人、妊婦の爲の收容所 (shelter) を作つた。恐らくは、慈悲の宗教である佛教の影響を受けた地方には、これらの病院が設立されていつたに違いない。Ceylon 島では前 473 年に病院が作られた事は確かな事である。更に東印度で最も注目されるものは、かの佛教信者のアソカ王の作つた 18 施設であるとされている。即ちこの病院が、現代病院とその性質が似ていることが注目されている。現代の看護婦に相当する附添者は、病人に対して優しく世話をし、新鮮な果実と野菜を供し、薬を用意し、マッサージを施し、自分の身を清潔に保たねばならなかつた。又ヒンズーの医師は、外科に熟練し、縫合法以外のいろいろな手術法を知つておつたが、毎日入浴し、髪と爪を短くし、白衣を衣て、患者の信頼を受けるべきであるとされていた。エジプトの偶像崇拜時代には、医術の合理的な体系は出来ていなかったが、相等の医法が行われていた。然し原始的病院としては、信仰治療が唯一の療法であるサターン寺院 Temple of Saturn が典型的のものとされている。

偕てギリシアに於ては、医薬の神であるエスクラピウス AEsculapius の神殿に於て行われた AEsculapia が病院の前身であるとされている。その一である Titanus は前 1134 年に作られたという。かの医学の父といわれる不世出のヒポクラテス Hippocrates はこの寺院の一つであるコス Kos に於て前 460 年に生まれたものである。そして多くの患者を診療して、かの偉大な業績を現わした。その爲に従来は慢性疾患の患者のみを扱つておつたものが、急性の疾患のものも集つて来るようになって行つた。このエスクラピウスはロ

然るにキリストが出現して以後は、その愛の宗教は、教会に多くの病者も含めたなやめる者を收容し、愛の手をさしのべた。そしてキリスト教がギリシア、ローマに拡がるに従い、この教会病院がエスクラピウスに代つて行つた。369 年にはカイザリア Caesarea の聖ブジル St. Basil の大病院が建立され、病者、老人、孤兒を收容し、390 年には、貴族から病者の爲に身を捧げたかの有名な看護婦人ファビオラ Fabiola が現われ、ナソコメイウム Nasocomium を建てた。然しこれら初期のキリスト教病院は、ギリシアの医学は異教徒のものとして取入れなかつた。

542 年にはフランス、リオンに、ホテル風の患者の爲に便宜的な病院である最初のオテル・デュー神の宿 Hotel Dieu が出現し、更にパリに Hotel Dieu of Paris が設立されている。

古代文明の基礎を作つた一地方であるアラビアに於ても、900 年頃にはバグダットに立派な病院が出現している。

「戦争は外科の唯一の学校である」とヒポクラテスはいつてゐるが、1096 年に始まつた十字軍の数回の大遠征で、急速に病院施設が増大し、聖地イエルサレムには、2000 人を收容しうる病院さえ出現した。ドイツ、ベルリンの聖霊病院 (1070 年) 英國のセント、ジョーンズ病院 (1084 年) 又は法皇インノセント三世による聖心病院が各主要都市に設立された。

即ち当時の病院の大部分は宗教団体によつて設立經營されたが、12、3 世紀になつて初めて、イングランド、スコットランド、フランスの数市に公立病院が現われるようになった。然し何れにしろこの中世紀の病院は、何れも科学知識の欠除したものであるから、病院の暗黒時代といわれているものである。(Y・Y 生)